**２３春闘討論集会報告**

２０２３年３月３日、神戸ポートオアシスに於いて来賓に全国港湾より玉田書記長・岡部中央執行委員、港運同盟兵庫地方本部より梶山執行委員長を迎え、コロナウイルス感染予防のため参加者を絞って春闘討論集会を開催しました。

開会にあたり、神戸港湾吉岡議長から「港湾で働く仲間が参加し、社会的アピールを広げ行動する事が重要、中央と連動して今日を境に臨戦態勢に入る。我々の雇用・職域を守り、また拡大していく決意を述べるとともに各単組・各組合員の更なる神戸港湾への結集・団結をお願いする」と挨拶がされました。

続いて、梶山委員長より連帯と激励の挨拶をいただいたのち、玉田書記長から全国港湾を取り巻く現状と、２３春闘での大きなポイントとなる点「大幅賃上げ」「雇用と職場を守る労使の取り組み」「魅力ある港湾労働の確立」について話をしていただきました。

その後、西澤神戸港湾事務局長から地区における春闘時の具体的行動について提案を行いました。

　集会後半には各加盟8単組の取り組み状況・報告がなされたのち、岡部中執から今後の中央での取り組みの報告をしていただきました。

その後、質疑応答が行われ「港湾労働者転職資金制度について詳しく教えてほしい」「関連職種の５．９協定適用、また日港協からの支援がおりるようお願いする」など現場の切実な問題が出されました。

　そして、閉会の挨拶を稲田神戸港湾副議長からいただき、最後は吉岡議長のガンバロー三唱で春闘討論集会を終了しました。